

別紙様式 2

連合農学研究科教員候補者個人調書

申請年度（西暦）	2020				
ふりがな	やまだ たろう	性別	所属大学・学部・学科・講座等		職名
氏名	山田 太郎	男	岩手大学 農学部 農林生産学科 作物生産学講座		教授
英語表記	YAMADA, Taro				
生年月日	〇〇年〇〇月〇〇日生	〇〇歳	個人番号 (8桁)	〇〇〇〇〇〇〇〇	
メールアドレス	〇〇@〇〇.jp				
連合農学研究科教員となった場合の専攻、連合講座等					
専攻	生物生産科学	連合講座	植物生産学	教育研究分野 (英語表記)	植物園芸学 (Horticulture)
教育研究分野の内容 (英語表記)	病害抵抗性育種に関する理論と応用 (Theoretical and applied studies on plant breeding for disease resistance)				
学歴					
年月	事項				
昭和〇年〇月	〇〇大学農学部農学科 入学				
昭和〇年〇月	〇〇大学農学部農学科 卒業				
昭和〇年〇月	〇〇大学大学院農学研究科修士課程（農学専攻） 入学				
昭和〇年〇月	〇〇大学大学院農学研究科修士課程 修了（農学修士）				
昭和〇年〇月	〇〇大学大学院農学研究科博士課程（農学専攻） 進学				
昭和〇年〇月	〇〇大学大学院農学研究科博士課程 修了（又は単位取得退学など）				
学位					
年月	学位の種類	取得大学名	学位論文の題名		
平成〇年〇月	博士（農学）	〇〇大学に関する研究		
職歴					
年月	事項				
平成〇年〇月	〇〇大学 助手 農学部				
平成〇年〇月	〇〇大学 助教授 農学部				
平成〇年〇月	〇〇大学大学院農学研究科担当（修士課程）				
平成〇年〇月	△△国△△大学留学（平成〇年〇月まで）				
平成〇年〇月	〇〇大学 教授 農学部（就任予定） （※ 年代順に記載する。）				
総説					
連番	事項				
	1 山田太郎、2019年、（総説のタイトル）、〇〇学会誌、〇巻：59-67				
	2 YAMADA, T.、2019、(Title)、Journal of Japanese・・・Sciences、Vol.〇：123-130				
学会賞受賞論文等					
年月	事項				
平成〇年〇月	〇〇賞（日本〇〇学会賞）受賞「〇〇に関する研究」 （※ 該当がない場合は「なし」と記載する。）				

【 記 入 例 】

別紙

教 育 研 究 業 績 書

氏名：山田 太郎 NO.1

1. 著書

1) 山田 太郎 2000年
の基礎
 ○○堂, 130頁, ISBN: 1234567890

2) 山田 太郎 2000年
について
 高橋二郎編: ...に関する研究 ○○書院
 第3章 111-132 ISBN: 1234567890

2. 学術論文

1) 山田二郎, 山田太郎 2000年 責任著者
に関する研究
 ○○学会誌, ○巻: 123-130

2) YAMADA, T., YAMADA, J. 2000年
 Students on the
 Journal of Japanese Sciences, Vol. ○: 123-130

3) YAMADA, T., RENDAI, J. 2000年
 Setudents on the
 Journal of Sciences, Vol. ○: 123-130

すべての業績について、申請者の氏名にはアンダーラインをつける。

ISBN-又は ISSN を記入する

原著論文のうち、レフリー制度のある国際誌または国内学術雑誌で、申請者が筆頭著者ではないが責任著者(*)である場合は、ここに明記する。

業 績 概 要		
1. 著書	編 (うち最近5年 編)	—
2. 原著論文	編 (うち最近5年 編)	筆頭著者・責任著者 編 (うち最近5年 編)
著書+原著論文	編 (うち最近5年 編)	筆頭著者・責任著者 編 (うち最近5年 編)

- 注 1) 申請にあたっては、できる限り研究業績を厳選し、申請者が基準を満たすために十分と考えられる業績数(著書+原著論文総数の最低基準数+5件程度)が望ましい。
- 2) 通し番号, 著者(共著者含め), 発表年, 論文題目, 掲載誌, 巻(号)ページ, ISBN(ISSN)の順に記載し、本人の氏名に必ずアンダーラインを付すこと。
- 3) 申請者が筆頭著者ではないが責任著者である国際誌または国内誌のレフリー付き論文については、その旨を業績一覧に明記すること。
- 4) 枚数は制限しないが、最後のページに「業績概要」を記載すること。
- 5) 「業績概要」中の学術論文の編数に博士論文を加えないこと。
- 6) 学会の講演要旨、科学研究費補助金報告書は学術論文に記載しないこと。